

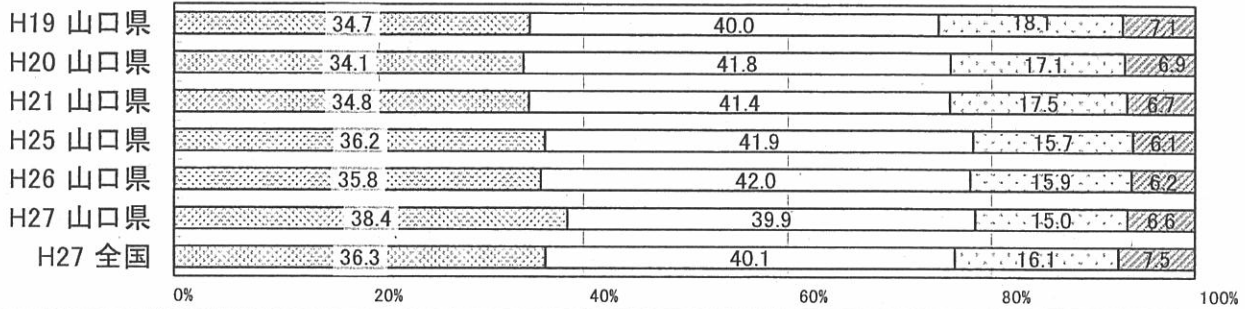
② 児童生徒質問紙

ア 自己肯定感

○ 自分にはよいところがあると思うと回答した児童生徒の割合は、年々増加しており、全国と比べると高い。
 ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、児童生徒一人ひとりのよさを具体的に認めたり、適切に評価したりする指導や場の一層の充実が望まれる。

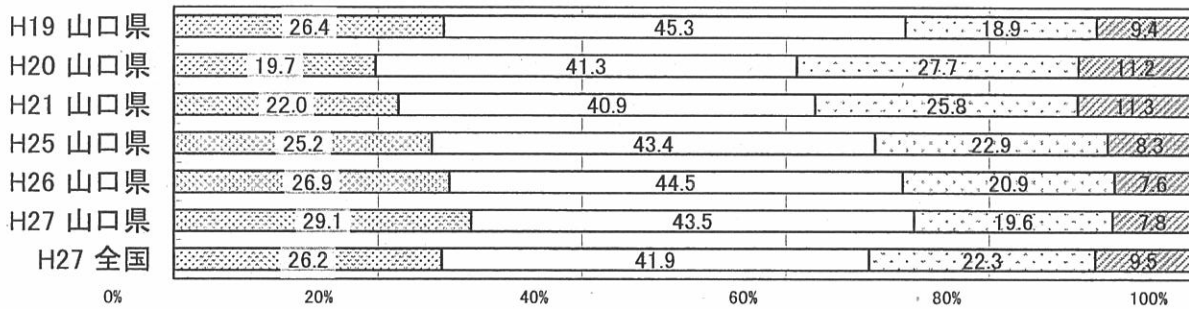
【小学校】 6 自分には、よいところがあると思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 6 自分には、よいところがあると思う

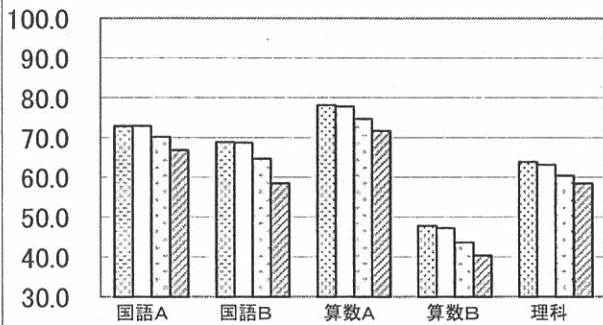
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



[教科の正答率との関係]

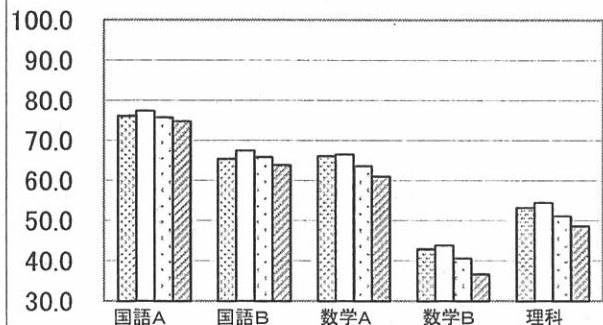
【小学校】 自分には、よいところがある

□ そう思う □ どちらかといえば、そう思う
 □ どちらかといえば、そう思わない □ そう思わない



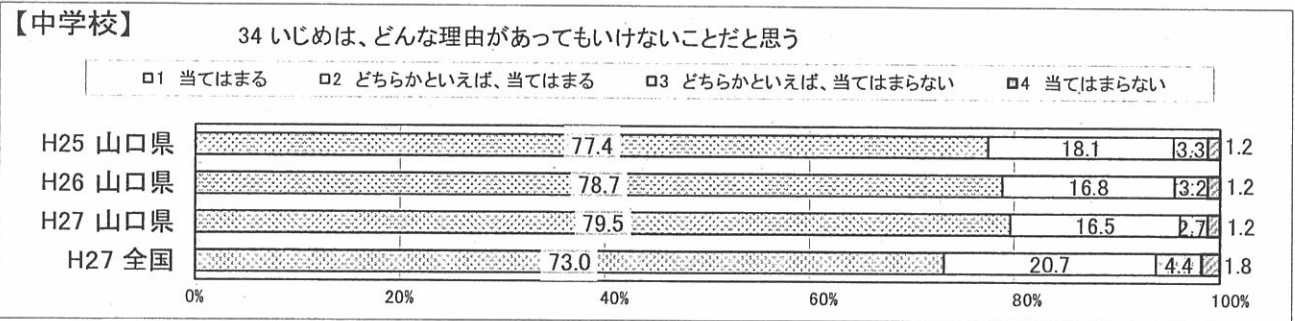
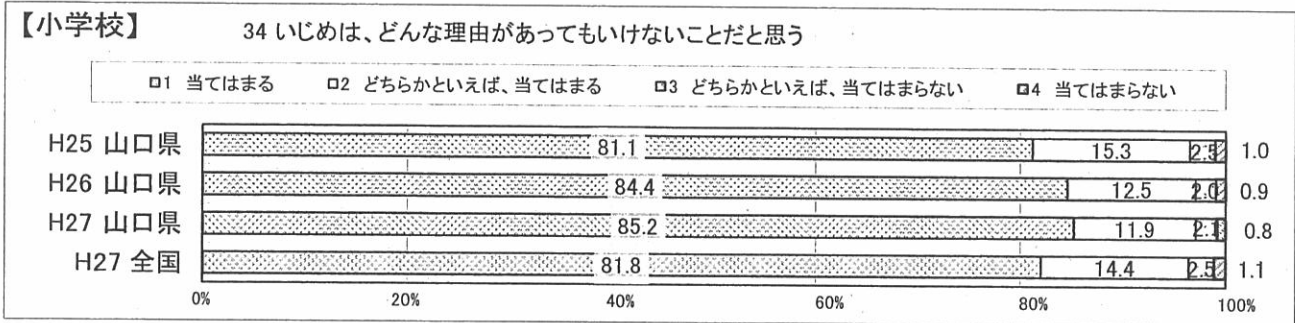
【中学校】 自分にはよいところがある

□ そう思う □ どちらかといえば、そう思う
 □ どちらかといえば、そう思わない □ そう思わない



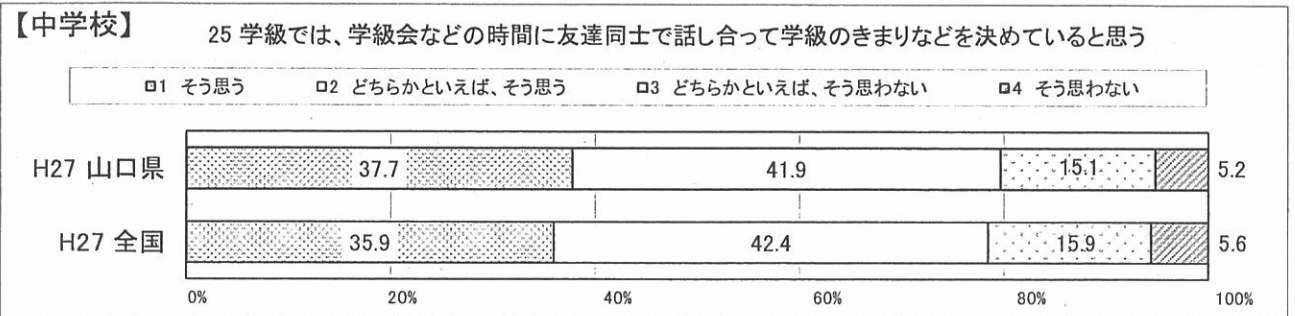
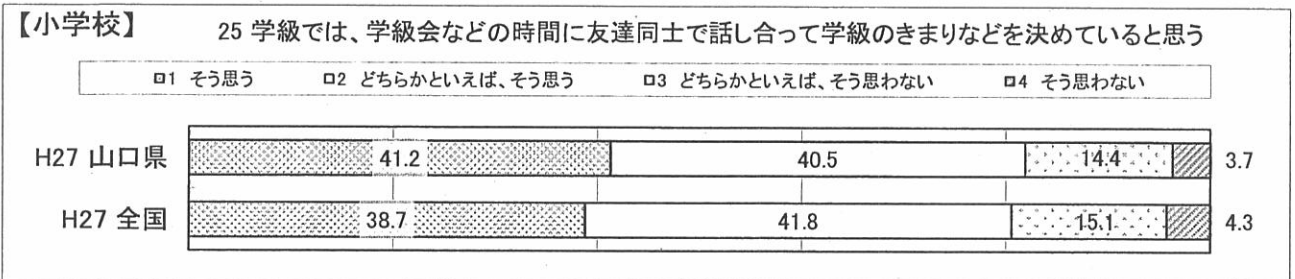
イ いじめはいけない

○ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
 ☞ 一方で、そう考えない児童生徒もいることから、今後も継続して心の教育の推進を図る必要がある。



ウ 学級のきまりなどの決定方法

○ 学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思うと回答した児童生徒の割合は、全国に比べて高い。
 ☞ 多くの学校で、教科の授業に限らず、児童生徒の話合いが行われ、主体的な学級づくりが推進されると捉えられることから、今後も話し合い活動の充実に向けた継続した取組が望まれる。



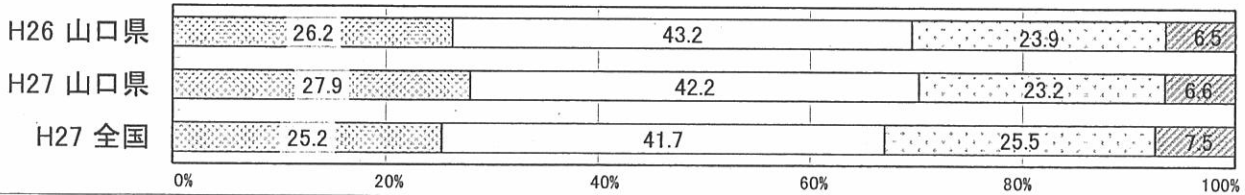
エ 話し合う活動を通じて自分の考えを深める・広げること

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うと回答した児童生徒の割合は、前年度から増加しており、全国と比べても高い。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、今後も、児童生徒が考えを深め、広げられるような話し合い活動の機会を設定するなど、取組の充実を図る必要がある。

【小学校】

46 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

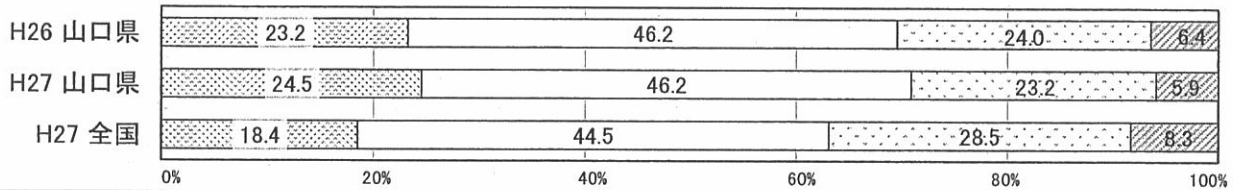
1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない



【中学校】

46 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

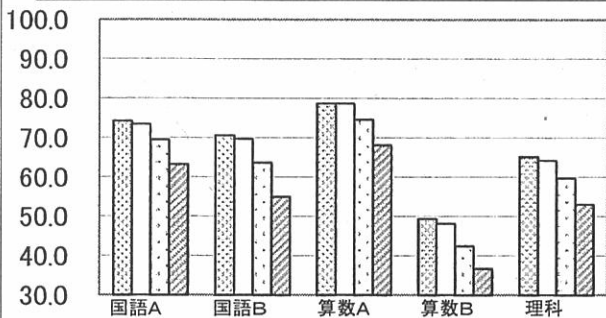
1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない



[教科の正答率との関係]

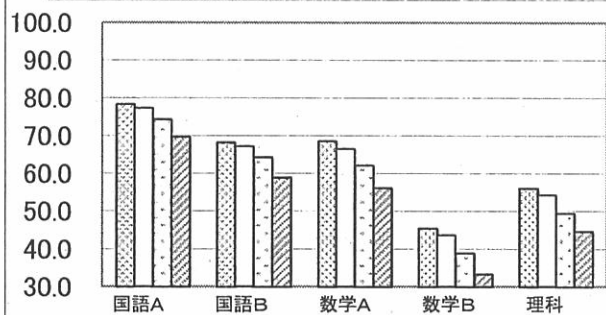
【小学校】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない



【中学校】 生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない



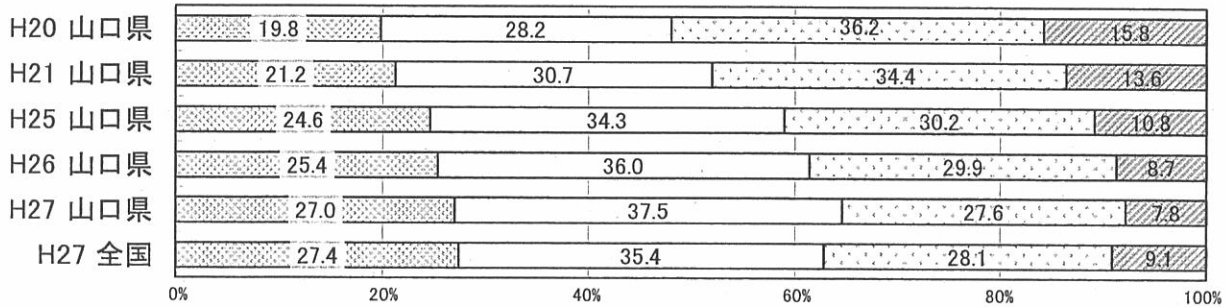
オ 自分で計画を立てて取り組む家庭学習

- 家で、自分で計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合は、年々増加しており、全国と比べても高い。
- ☞ 肯定的に回答した児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、具体的な計画の立て方を示すなどにより、見通しをもって学習する習慣の確立を図ることが必要である。

【小学校】

20 家で、自分で計画を立てて勉強をしている

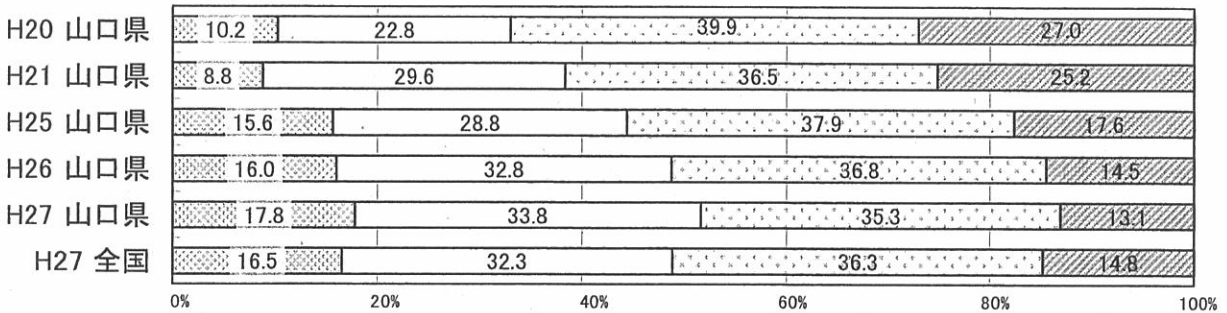
□1 している □2 どちらかといえば、している □3 あまりしていない □4 全くしていない



【中学校】

20 家で、自分で計画を立てて勉強をしている

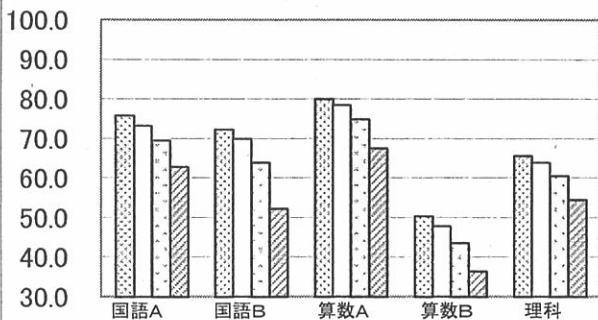
□1 している □2 どちらかといえば、している □3 あまりしていない □4 全くしていない



[教科の正答率との関係]

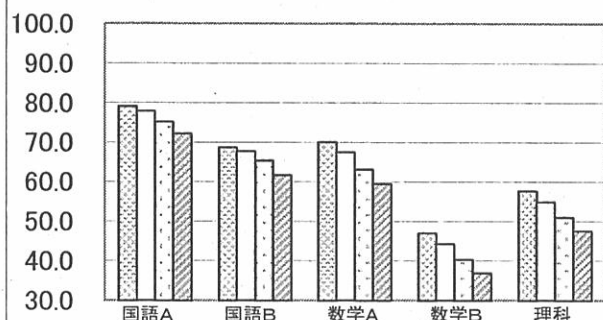
【小学校】家で、自分で計画を立てて勉強をしている

□そう思う □どちらかといえば、そう思う
□どちらかといえば、そう思わない □そう思わない



【中学校】家で、自分で計画を立てて勉強をしている

□そう思う □どちらかといえば、そう思う
□どちらかといえば、そう思わない □そう思わない

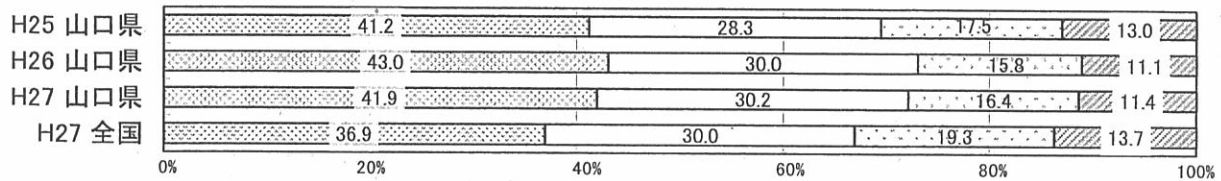


カ 地域行事への参加

- 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高く、特に中学校生徒の割合は年々増加している。
- ☞ コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、今後も地域とのつながりを大切にした指導の充実が求められる。

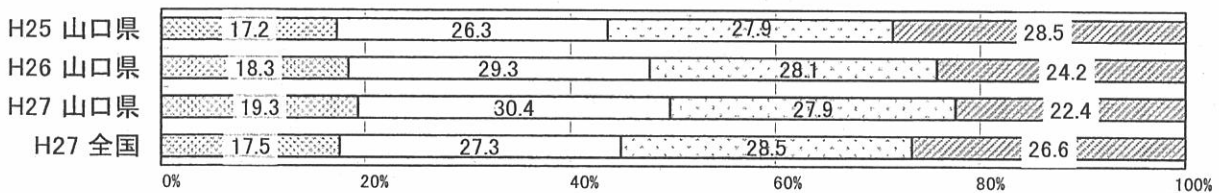
【小学校】 27 今住んでいる地域の行事に参加している

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 27 今住んでいる地域の行事に参加している

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

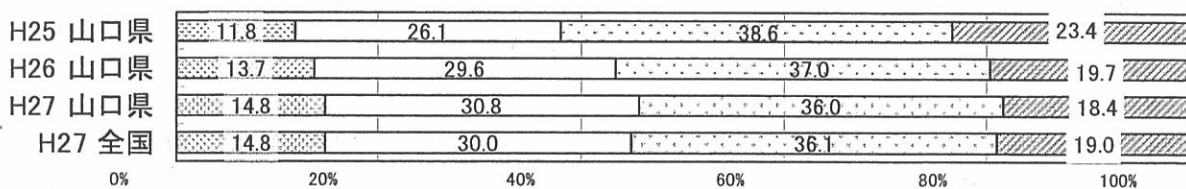


キ 地域や社会をよくするために何をすべきか

- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の割合は、前年度より増加しており、全国と比べてやや高い。
- ☞ 今後も、地域社会への主体的な参画意識を高める指導に取り組む必要がある。

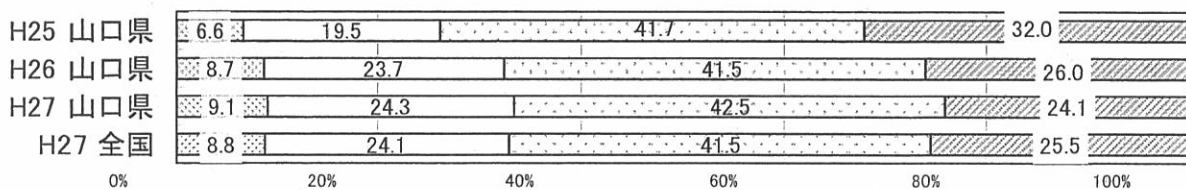
【小学校】 29 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 29 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

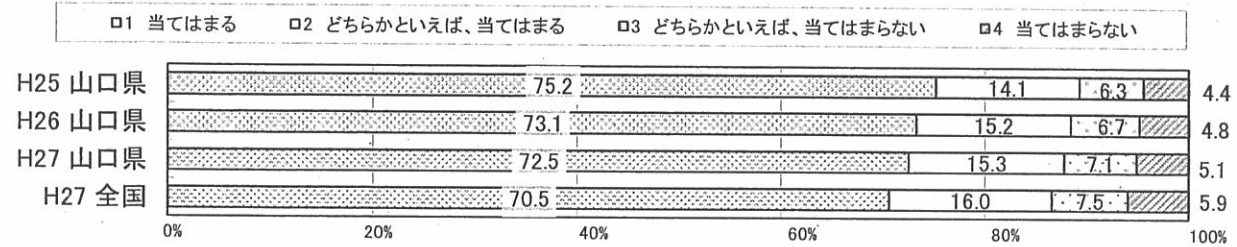
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



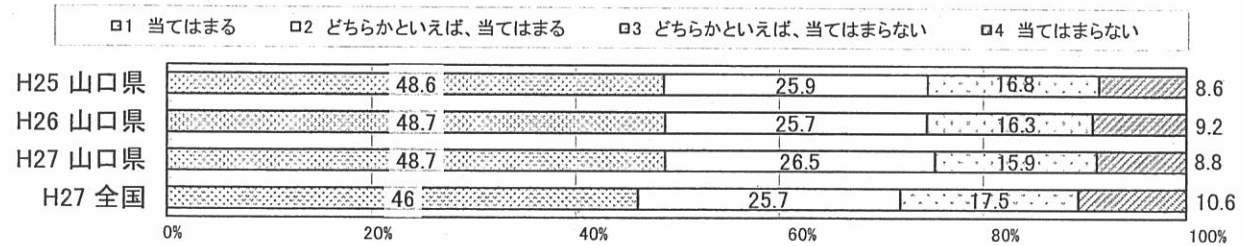
ク 将来の夢や目標

- 将来の夢や目標を持っていると回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いが、小学校については、肯定的に回答した児童の割合は、年々減少しており、夢や目標を持っていない児童は12.2%、生徒は24.7%いる。
- ☞ 今後、「1/2成人式」や「立志式」の取組等を含め、キャリア教育の一層の充実を図ることが必要である。

【小学校】 9 将来の夢や目標を持っている



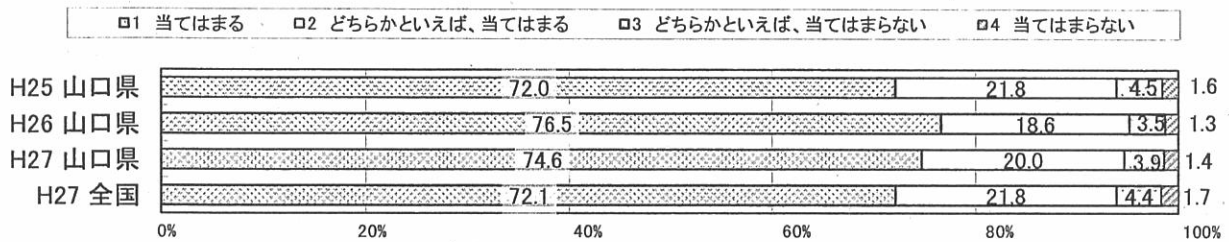
【中学校】 9 将来の夢や目標を持っている



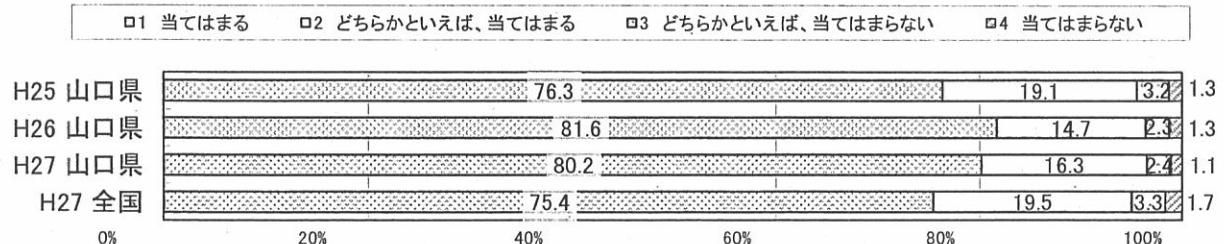
ケ 人の気持ちが分かる人間になりたい

- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思うと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いが、児童はやや減少しており、そう思わないと回答した児童は5.3%、生徒は3.5%いる。
- ☞ 今後、道徳科の授業の改善・充実を含め、心の教育の一層の充実を図る必要がある。

【小学校】 33 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う



【中学校】 33 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

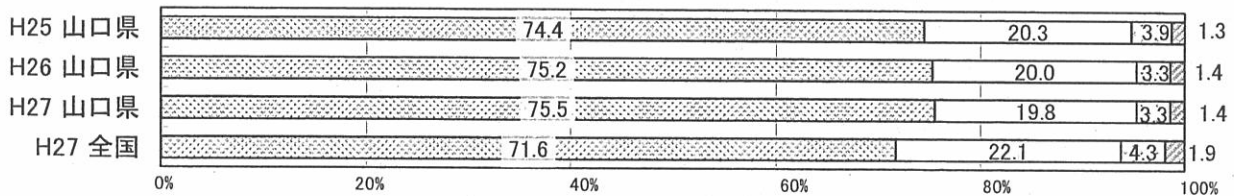


コ 人の役に立つ人間になりたい

- 人の役に立つ人間になりたいと思うと回答している児童生徒の割合は、全国と比べて高いが、そう思わないと回答した児童は4.7%、生徒は4.3%いる。
- ☞ 今後、道徳科の授業改善や様々な体験活動の充実を含め、心の教育の一層の充実を図る必要がある。

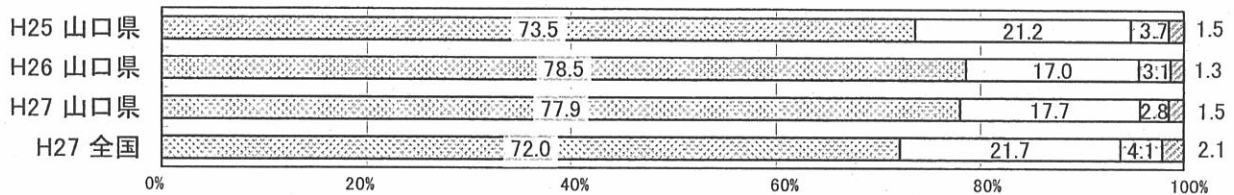
【小学校】 35人の役に立つ人間になりたいと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 35人の役に立つ人間になりたいと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

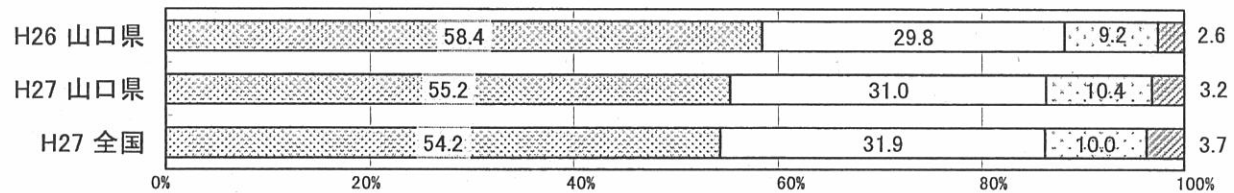


サ 協力して何かをやり遂げ、うれしかったこと

- 協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校・中学校ともに大きな差はないが、前年度より減少している。特に、中学校は全国の割合よりも低い。
- ☞ 今後、計画的・意図的に協働的な活動場面を設定するなどの工夫が求められる。

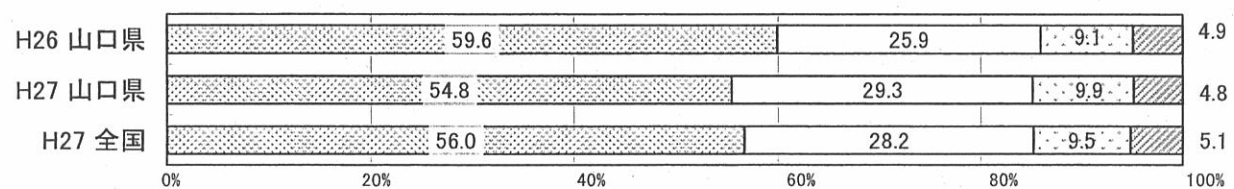
【小学校】 26学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



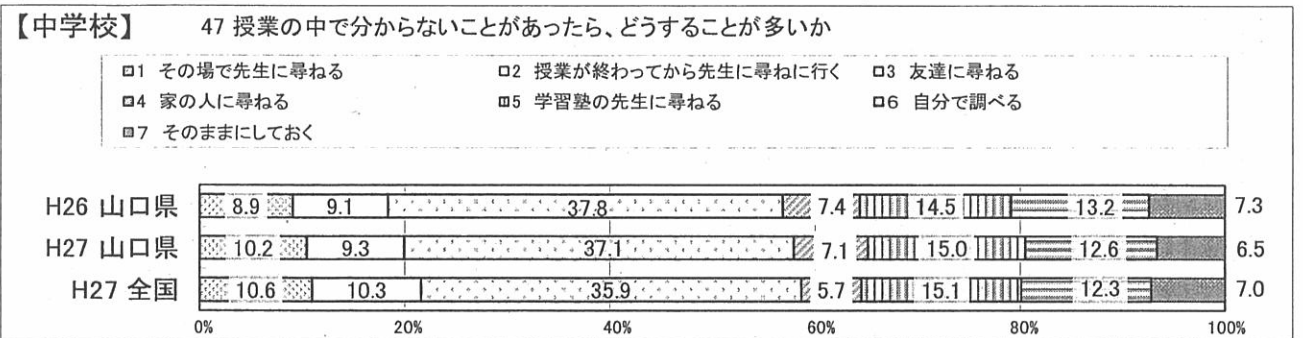
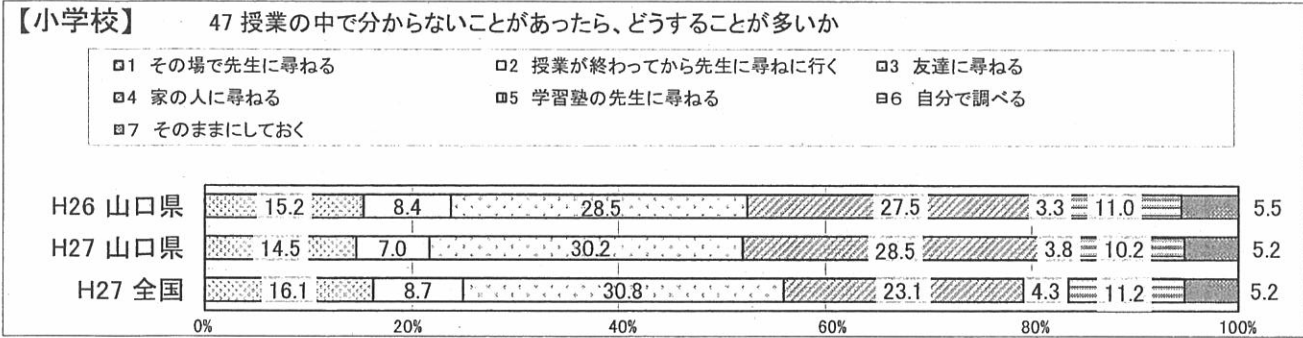
【中学校】 26学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない

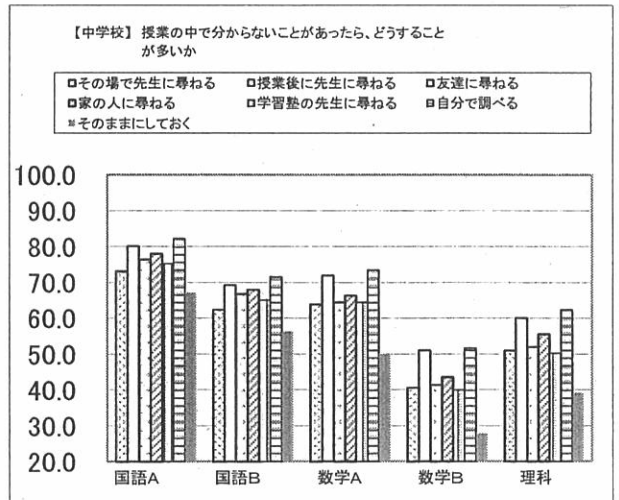
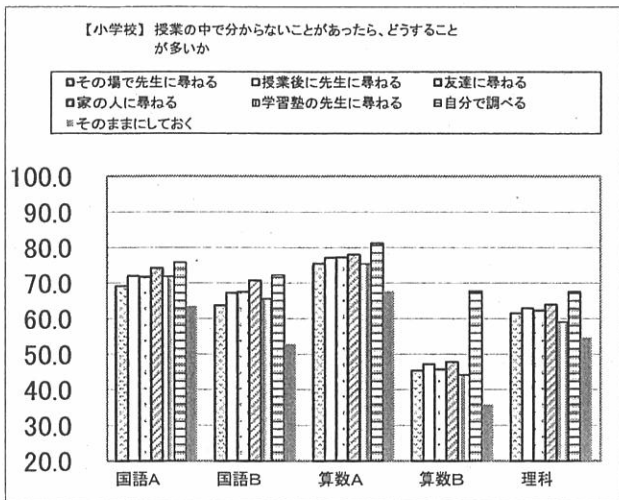


シ 授業で分からないことがあるときの対応

● 授業で分からないことがあったとき、「先生に尋ねる」「友達に尋ねる」と回答した児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに、全国と比べて低く、「そのままにしておく」と回答した児童は5.2%、生徒は6.5%いる。
 ☞ 自分で調べたり、人に尋ねたりするなどにより、分からないことを解決していく児童生徒の教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、児童生徒が分からないことに直面したとき、適切な解決方法を選択し、最後まで問題を解決していこうとする意識を高める指導を行っていく必要がある。



[教科の正答率との関係]

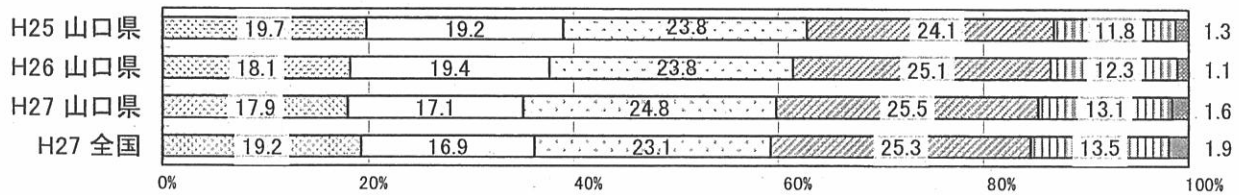


ス テレビなどを見たり聞いたりする時間(1日当たり・平日)

- 平日1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりすると回答した児童生徒の割合は、年々減少しているが、小学校児童は全国と比べて高く、4時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする児童は17.9%、生徒は12.4%いる。
- ☞ テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする時間が短い児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、家庭でのルール作りなど、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

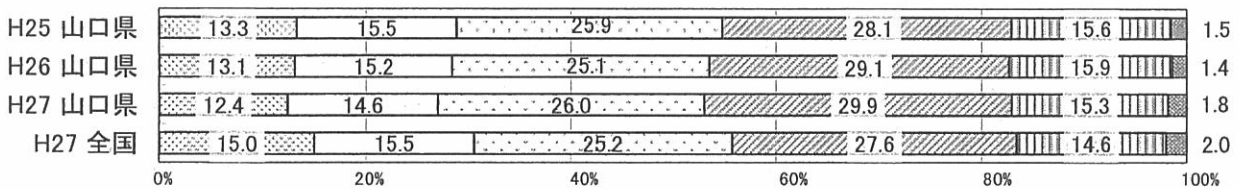
【小学校】 10 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりするか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【中学校】 10 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりするか

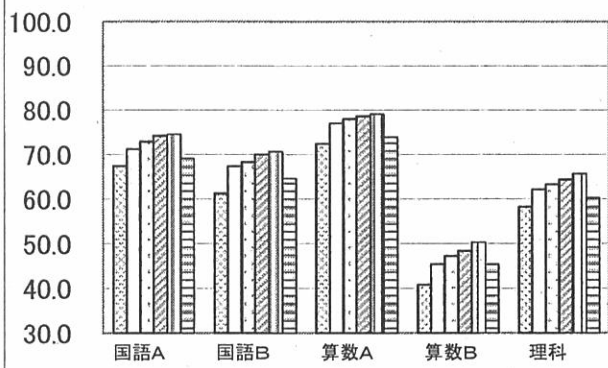
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【教科の正答率との関係】

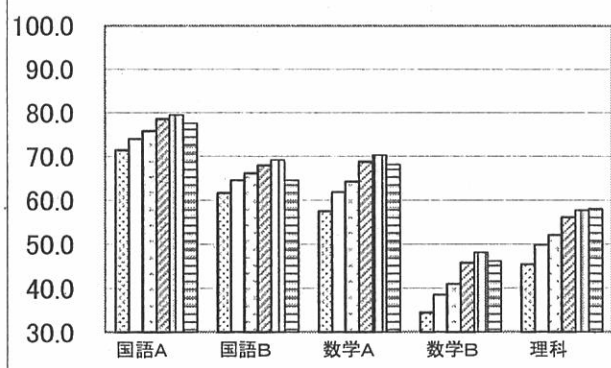
【小学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりするか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間
□1時間～2時間 □1時間より少ない □全くしない



【中学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりするか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間
□1時間～2時間 □1時間より少ない □全くしない

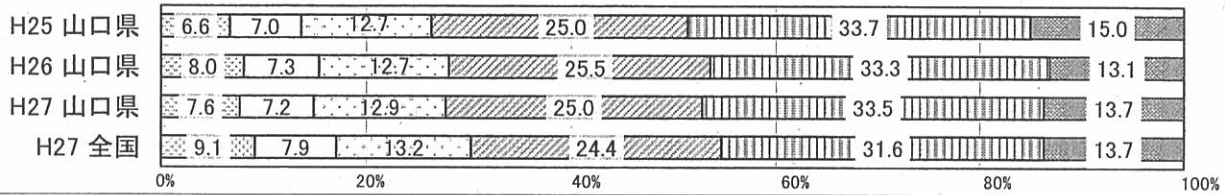


セ テレビゲームをする時間(1日当たり・平日)

- 平日1日当たり1時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合は、全国と比べて低いものの、5割を超えており、特に生徒は年々増加傾向にある。
- ☞ テレビゲームをする時間が短い児童生徒の方が、全ての教科において高い平均正答率が見られることから、家庭でのルール作りなど、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

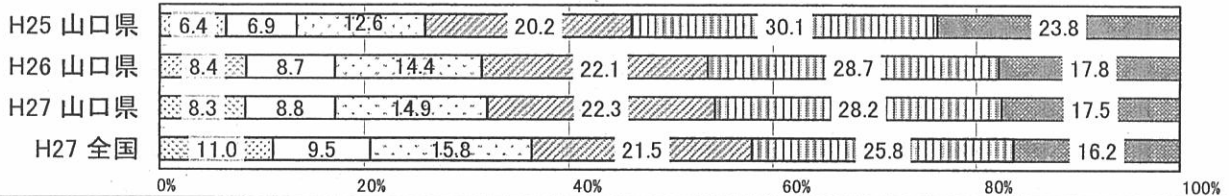
【小学校】 11 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



【中学校】 11 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか

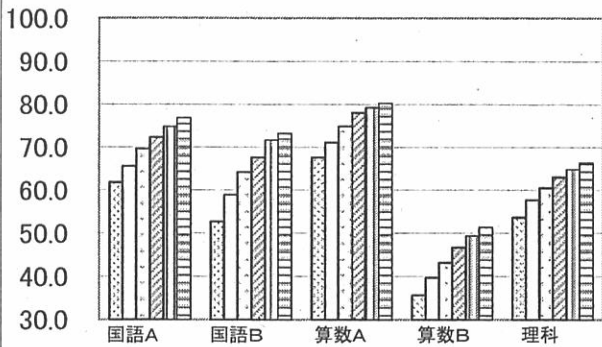
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 1時間より少ない □6 全くしない



[教科の正答率との関係]

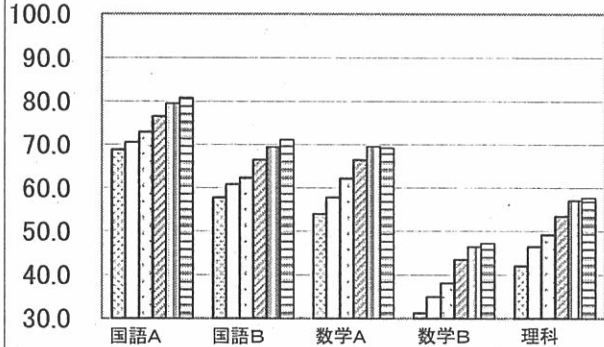
【小学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間
□1時間～2時間 □1時間より少ない □全くしない



【中学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをするか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間
□1時間～2時間 □1時間より少ない □全くしない

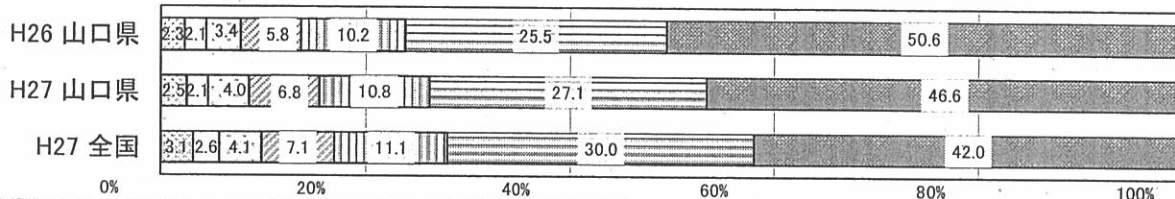


ソ 携帯電話やスマートフォンを使う時間(1日当たり・平日)

- 平日1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童生徒の割合は、全国と比べて低いものの、4時間以上すると回答した児童は2.5%、生徒は7.8%である。
- ☞ 平日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い、あるいは持っていない児童生徒の方が、全ての教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、家庭でのルール作りなど、家庭との連携・協力を強めていく必要がある。

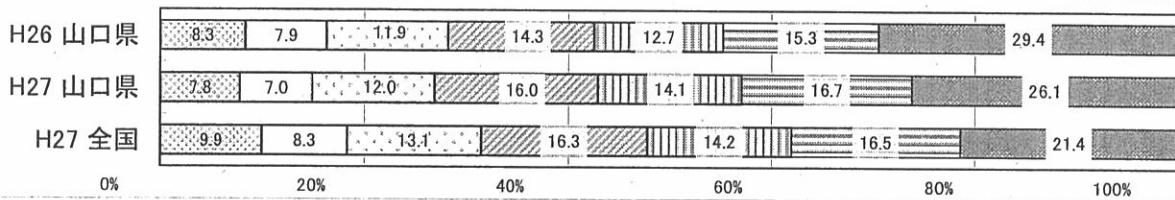
【小学校】 12 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 30分～1時間 □6 30分より少ない □7 もっていない



【中学校】 12 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

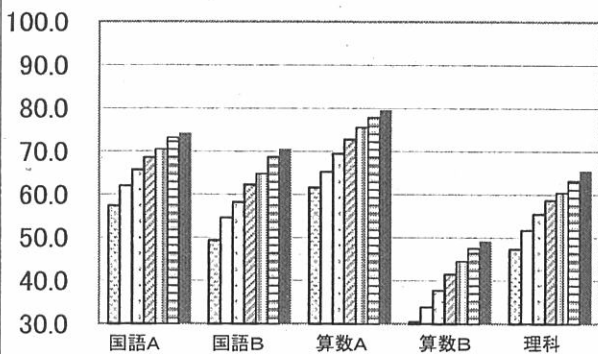
□1 4時間以上 □2 3時間～4時間 □3 2時間～3時間 □4 1時間～2時間 □5 30分～1時間 □6 30分より少ない □7 もっていない



[教科の正答率との関係]

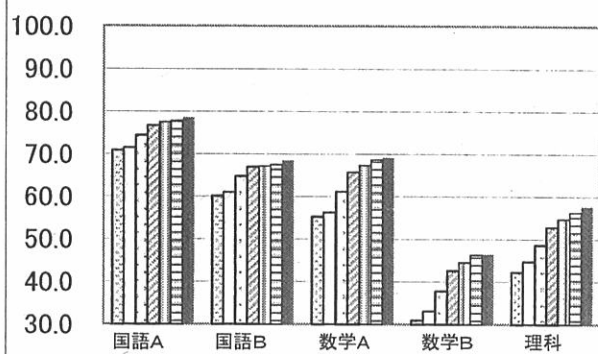
【小学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間 □1時間～2時間
□30分～1時間 □30分より少ない ※持っていない



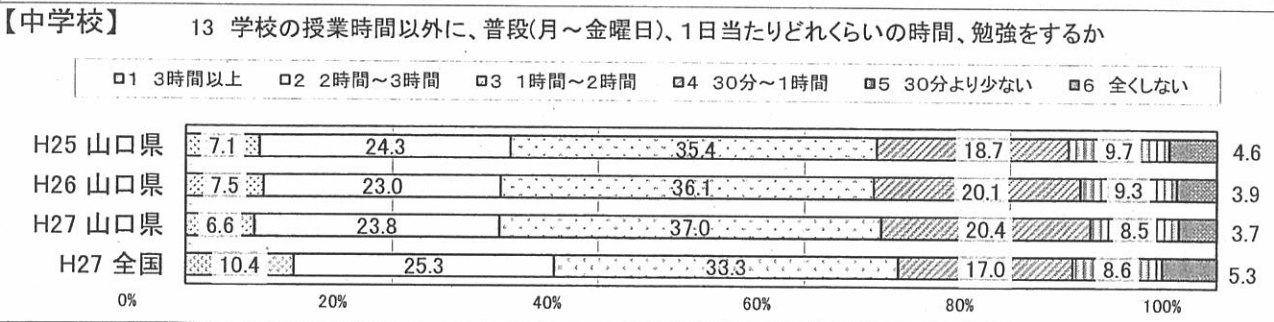
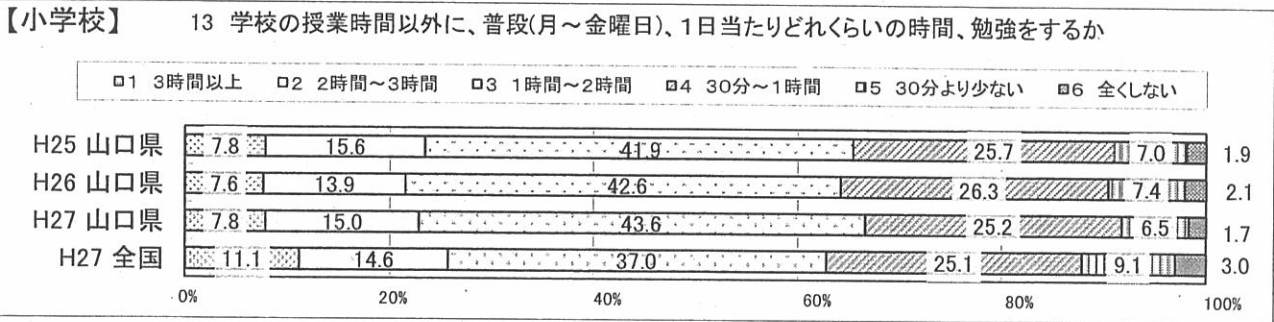
【中学校】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

□4時間以上 □3時間～4時間 □2時間～3時間 □1時間～2時間
□30分～1時間 □30分より少ない ※持っていない



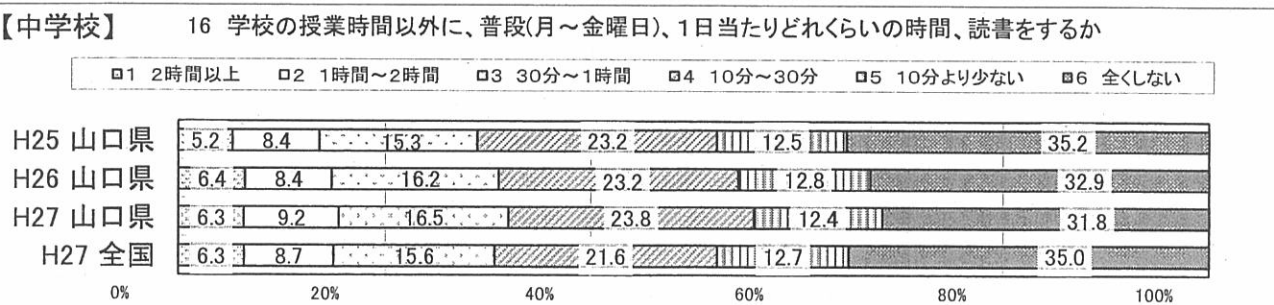
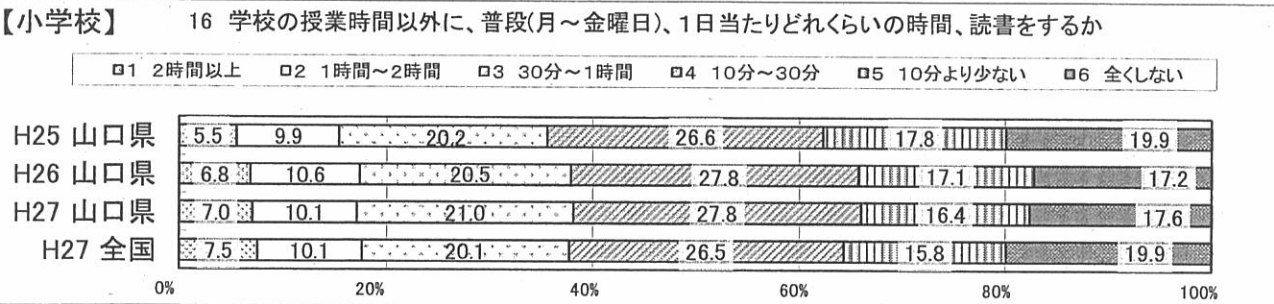
タ 学校以外で勉強する時間(1日当たり・平日)

- 学校の授業時間以外に平日1日当たりに1時間以上学習する中学校生徒は、全国に比べて依然として低い。全く勉強しない小学校児童は1.7%、中学校生徒は3.7%いる。
- ☞ 今後、家庭との連携・協力を密にし、家庭学習習慣の定着を図っていく必要がある。



チ 読書をする時間(1日当たり・平日)

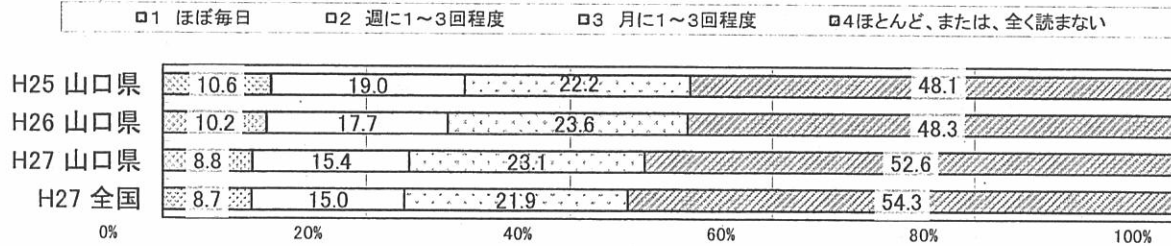
- 平日1日当たり30分以上読書をする児童生徒の割合は、年々増加しており、全国と比べて高いが、全く読書をしていない児童生徒が、小学校で17.6%、中学校で31.8%おり、小学校は前年度よりも高くなっている。
- ☞ 朝読書の時間などを活用し、活字に触れ、読書の楽しさを味わわせる取組の工夫が必要である。



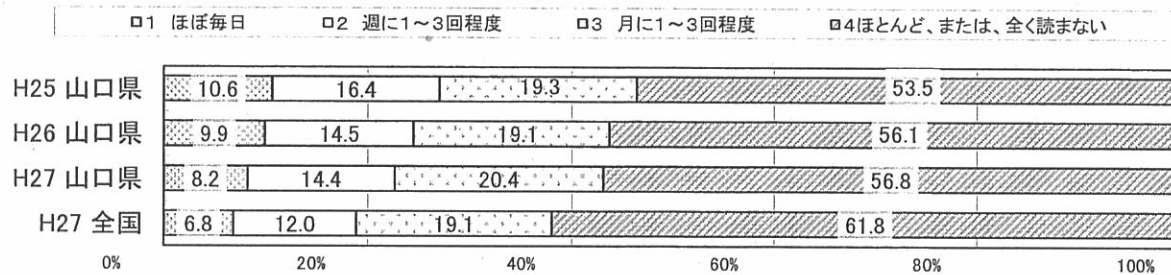
ツ 新聞を読んでいるか

- 新聞を読んでいると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて高いが、「ほとんど、または、全く読まない」と回答した児童は52.6%、生徒は56.8%である。
- ☞ 新聞を読んでいる児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られることから、学校においても活字に触れる、情報を選択する、社会の動きに関心を持つなど、新聞の活用を考慮する必要がある。

【小学校】 30 新聞を読んでいるか



【中学校】 30 新聞を読んでいるか



[教科の正答率との関係]

